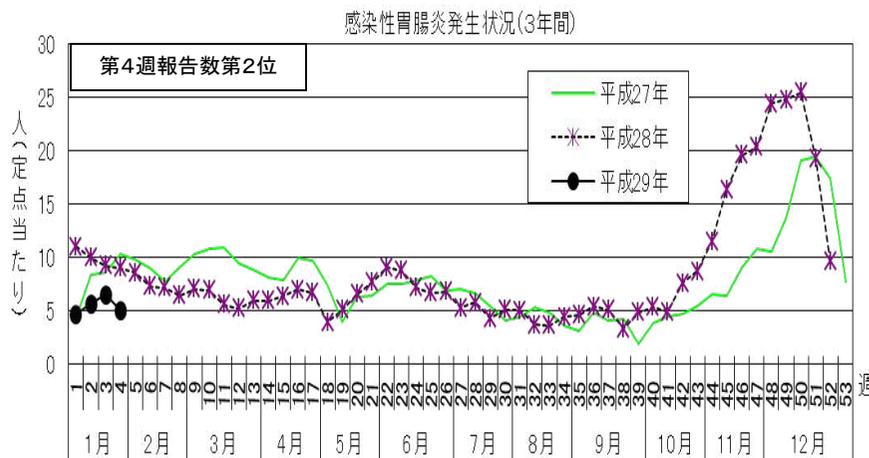
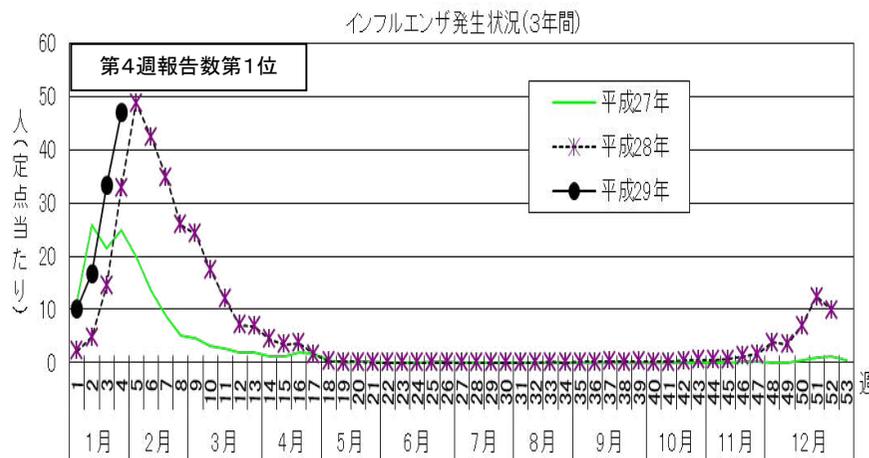


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年1月23日（月）～平成29年1月29日（日）〔平成29年第4週〕の感染症発生状況

第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は46.88人と前週（33.23人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.00人と前週（6.47人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.81人と前週（1.53人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



## インフルエンザ患者数さらに増加！！

川崎市では、インフルエンザの第4週（平成29年1月23日～1月29日）の定点当たり患者報告数が46.88人となりました。平成17年（50.83人）、平成28年（48.78人）、平成24年（47.07人）のピークに次ぐ定点当たり患者報告数となっており、現時点での学級閉鎖数を考慮するとさらに増加する可能性があります。

本市のリアルタイムサーベイランスによると、A型インフルエンザの患者は引き続き市内全域で報告されています。B型インフルエンザも2週間前と比較して患者数は増加しており、地域的な流行がみられます。

川崎市内の学校等における学級閉鎖等実施状況  
(平成29年1月31日16:00集計)



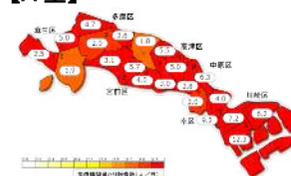
学級閉鎖等実施週(閉鎖期間の初日が属する週)

川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)  
インフルエンザリアルタイムサーベイランス地図情報

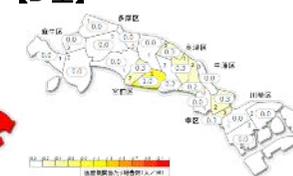
※平成29年1月31日15:00時点

平成29年1月16日報告分

【A型】



【B型】



平成29年1月30日報告分

【A型】



【B型】

